

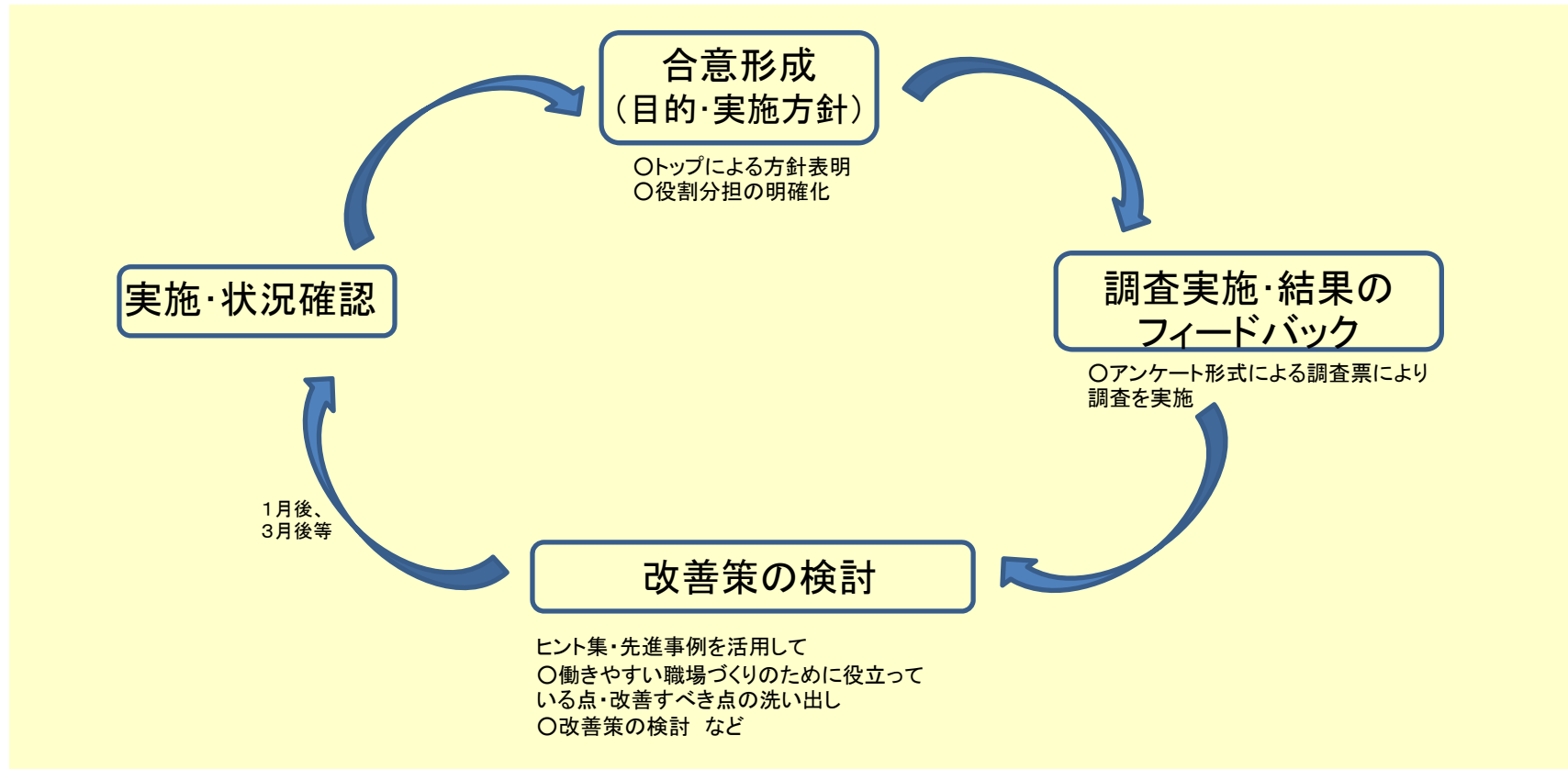
心の健康づくりのための職場環境改善（イメージ）

○ 職場環境改善の目的・期待される効果

職員の心の健康に直接・間接に影響する職場環境の実態を把握して、働きやすい職場づくりのために役立っている点、改善すべき点を洗い出し、役立っている点については一層の促進を、改善すべき点については改善を行うことで、ストレスのないいきいきとした職場を実現し、職員のメンタルヘルスの向上を図ることを目的とする。

また、職員の能力が十分発揮されることによる行政サービスの向上なども期待される。

○ 職場環境改善の進め方



○ 民間企業等における職場環境改善の先進事例

<A社>

①対象職場

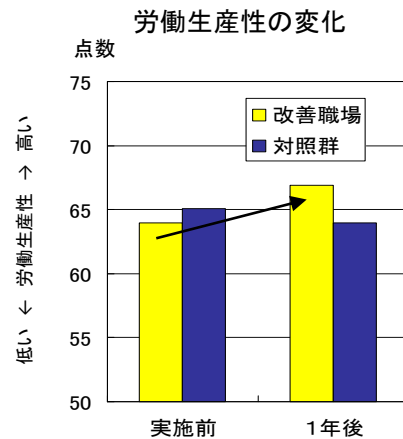
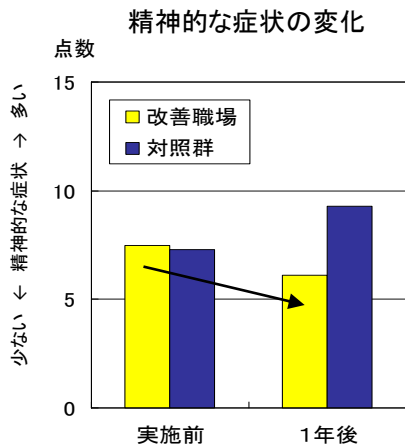
電子部品を製造する工場(約140名)の6職場(約50名)。

②職場環境改善活動の内容

ストレス調査を実施するとともに、工場長による「職場環境改善活動宣言」。調査結果に基づき職員参加型改善検討会を開催。

③成果

職場内や他の部局とのコミュニケーション・連携の促進が図られたり、作業能率の改善が図られることで、精神的健康度と仕事上のパフォーマンスが向上。



※対照群:職場環境改善活動を実施しなかった職場

<B社>

①対象職場

製造業であるB社の研究開発等を行う事業所(約5,000名)。

②職場環境改善活動の内容

事業所方針に心の健康づくりに積極的に取り組む姿勢を明記、職場環境改善を目的としたストレス対策を安全衛生委員会等で周知、全職員を対象に調査を実施。管理監督者に対して、調査結果をフィードバックし、結果検討会等を実施。

③成果

精神疾患による疾病休業率が低下、高ストレス職場が減少。

